

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月13日

【四半期会計期間】 第70期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 滝沢ハム株式会社

【英訳名】 TAKIZAWA HAM CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 瀧 澤 太 郎

【本店の所在の場所】 栃木県栃木市泉川町556番地

【電話番号】 0282(23)5640(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 山 口 輝

【最寄りの連絡場所】 栃木県栃木市泉川町556番地

【電話番号】 0282(23)5640(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 山 口 輝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第69期 第1四半期 連結累計期間	第70期 第1四半期 連結累計期間	第69期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	8,114,263	7,320,197	31,922,769
経常利益 (千円)	72,607	12,120	157,164
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円)	55,044	30,680	92,257
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	55,393	76,071	67,096
純資産額 (千円)	3,871,090	3,641,722	3,748,599
総資産額 (千円)	15,239,871	14,162,843	14,170,331
1株当たり四半期(当期)純利益又は1株当たり四半期純損失() (円)	26.80	14.94	44.92
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)	25.4	25.7	26.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、出口の見えない米中貿易摩擦など不確実な世界情勢は混迷を深め、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、実感なき景気回復という状況下消費者の低価格志向は根強く、また、人手不足による人件費・物流費の上昇などが続く中、企業間競争は一段と激しさを増すなど、厳しい事業環境となりました。

このような状況の中で、当社グループは「お取引先と消費者から見て質の高い会社にする」という基本的な考えのもと、チーム営業の推進により取引先との関係強化を図るとともに、外食部門等の開拓などの推進を行ってまいりました。生産部門におきましては、当社独自商品の開発や小集団活動による生産性と安全性の向上に取り組んでまいりました。また、食肉部門については、こだわりの国産豚の拡販や輸入肉の仕入力強化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、ハム・ソーセージ等の食肉加工品の売上の伸び悩みと食肉部門の販売不振により73億20百万円（前年同期比9.8%減）となりました。

損益面につきましては、売上高の減少を主因に営業損失6百万円（前年同期54百万円の営業利益）、経常利益12百万円（前年同期比83.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円（前年同期55百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）の計上となりました。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、企業間の価格競争の激化などによりハム・ソーセージなどの売上は前年を下回りました。この結果、この部門の売上高は29億80百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、ハンバーグ類は前期並に推移したものの調理加工品が伸び悩んだため、売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は11億18百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、国産ブランド豚肉などの拡販に努めましたが、輸入肉などの価格競争が厳しく売上高は減少いたしました。この結果、この部門の売上高は31億84百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、外食部門等の売上高は36百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ7百万円減少し141億62百万円となりました。これは主に商品及び製品が増加した一方、現金及び預金、投資有価証券が減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ99百万円増加し105億21百万円となりました。これは主に買掛金が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ1億6百万円減少し36億41百万円となりました。これは利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は16百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	7,952,000
計	7,952,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,102,000	2,102,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は 100株であります。
計	2,102,000	2,102,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年6月30日		2,102		1,080,500		685,424

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 48,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,053,300	20,533	
単元未満株式	普通株式 500		一単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	2,102,000		
総株主の議決権		20,533	

(注) 「単元未満株式」の普通株式500株には当社所有の自己株式96株が含まれております。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 滝沢ハム株式会社	栃木県栃木市泉川町 556番地	48,200		48,200	2.29
計		48,200		48,200	2.29

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、アーク有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、明治アーク監査法人は2019年7月1日をもって有限責任監査法人に移行したことにより、名称をアーク有限責任監査法人に変更しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,149,955	2,072,181
受取手形及び売掛金	3,292,544	3,318,273
商品及び製品	970,455	1,098,166
仕掛品	165,519	205,124
原材料及び貯蔵品	213,763	255,821
その他	79,164	72,108
流動資産合計	6,871,402	7,021,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,941,324	1,913,056
機械装置及び運搬具（純額）	261,795	252,610
土地	1,647,216	1,647,004
リース資産（純額）	1,527,889	1,473,591
その他（純額）	157,319	151,231
有形固定資産合計	5,535,544	5,437,495
無形固定資産	70,940	78,729
投資その他の資産		
投資有価証券	1,483,470	1,416,101
その他	214,364	214,200
貸倒引当金	5,390	5,358
投資その他の資産合計	1,692,443	1,624,943
固定資産合計	7,298,928	7,141,167
資産合計	14,170,331	14,162,843

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,703,623	3,024,408
短期借入金	2,846,264	2,872,986
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
リース債務	411,492	411,913
未払法人税等	27,100	14,085
賞与引当金	130,315	37,695
役員賞与引当金	3,738	1,253
その他	1,162,496	1,198,134
流動負債合計	7,325,029	7,600,476
固定負債		
社債	320,000	300,000
長期借入金	809,158	704,977
リース債務	1,255,165	1,196,847
繰延税金負債	80,414	91,262
役員退職慰労引当金	140	187
執行役員退職慰労引当金	-	5,903
退職給付に係る負債	427,867	423,157
その他	203,956	198,309
固定負債合計	3,096,702	2,920,645
負債合計	10,421,732	10,521,121
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	1,641,564	1,580,079
自己株式	4,575	4,575
株主資本合計	3,401,913	3,340,428
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	386,540	338,488
退職給付に係る調整累計額	39,854	37,194
その他の包括利益累計額合計	346,685	301,294
純資産合計	3,748,599	3,641,722
負債純資産合計	14,170,331	14,162,843

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	8,114,263	7,320,197
売上原価	6,728,809	6,030,824
売上総利益	1,385,454	1,289,372
販売費及び一般管理費	1,330,727	1,295,489
営業利益又は営業損失()	54,726	6,117
営業外収益		
受取利息	38	33
受取配当金	15,707	16,252
受取賃貸料	6,522	8,480
その他	7,667	4,649
営業外収益合計	29,936	29,416
営業外費用		
支払利息	11,979	11,178
その他	76	-
営業外費用合計	12,055	11,178
経常利益	72,607	12,120
特別利益		
投資有価証券売却益	2	1
損害賠償金収入	5	-
特別利益合計	8	1
特別損失		
固定資産除却損	9,510	966
減損損失	904	211
訴訟関連費用	-	5,197
特別損失合計	10,414	6,376
税金等調整前四半期純利益	62,200	5,745
法人税、住民税及び事業税	7,137	4,810
法人税等調整額	18	31,615
法人税等合計	7,156	36,425
四半期純利益又は四半期純損失()	55,044	30,680
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()	55,044	30,680

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	55,044	30,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	746	48,051
退職給付に係る調整額	1,095	2,659
その他の包括利益合計	348	45,391
四半期包括利益	55,393	76,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	55,393	76,071

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

当社は、2018年11月19日にスターゼン株式会社より株式会社シンコウフーズと共同で訴訟の提起を受けました。当該訴訟は、株式会社シンコウフーズが保有する特定加熱食肉製品の製造方法に関する特許権（特許第5192595号）を侵害するとして、同製品の製造・販売等の差し止め及び損害賠償請求を内容とするものであり、東京地方裁判所で係争中であります。

なお、本件訴訟が当社グループの今後に与える影響につきましては、現時点で合理的に予測することは困難であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	162,390千円	166,357千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	51,342	25.00	2018年3月31日	2018年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	30,805	15.00	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり 四半期純損失()	26円80銭	14円94銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	55,044	30,680
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	55,044	30,680
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,053	2,053

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月13日

滝沢ハム株式会社
取締役会 御中

アーク有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	吉	村	淳	一	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	植	木	一	彰	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている滝沢ハム株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、滝沢ハム株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。